広報しばた CITY OF SHIBATA INFORMATION
■令和３年３月15日発行　No.1536
■編集・発行／新発田市みらい創造課広報広聴係　〒957-8686 新発田市中央町3-3-3　☎0254-22-3030（代表）　FAX 0254-22-3110　Eメール mirai@city.shibata.lg.jp　■印刷／昭栄印刷株式会社

考えよう防災のこと

【問合せ先】地域安全課消防防災係（☎28-9510）

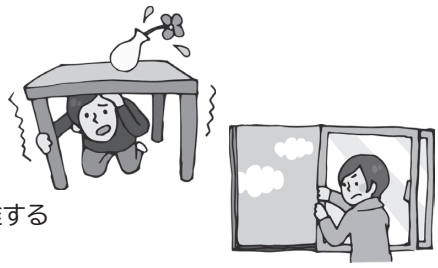
地震から身を守る ～過去の震災に学び、防災意識を高めよう～

東日本大震災から10年目を迎えました。また、先月は最大震度6強の福島県沖地震が発生しました。今一度、地震発生時の行動を確認しましょう。

もし地震が起こったら…

地震発生 ～3分 命を守る　まずは身の安全を確保する

▼頑丈な机などの下にもぐり、落下物などから身を守る
▼揺れがおさまったら、ドアや窓を開けて逃げ道を確保する
▼火の始末（初期消火）をする
▼非常持ち出し袋を身近に用意する
▼ガラスの破片などから足を守るため、靴を履く
▼沿岸部で強い地震を感じたら、すぐに海や川から離れて避難する



以降 助け合う　住民が助け合い、地域で命を守る

▼高齢者など、避難が困難な方を支援する
▼協力して消火・救出・救護活動をする
▼ラジオなどで正しい災害・被害情報を収集する
▼壊れた家には入らない

日頃の備え

市ホームページでも確認できます

【避難施設と避難経路の確認】

災害時に安全に避難するため、ハザードマップを確認し、あらかじめ避難場所と避難経路を決めておきましょう。併せて、避難経路上に危険な場所がないか確認しましょう。

▲全戸配付したハザードマップ

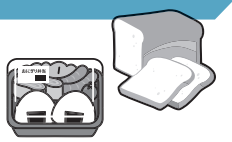
【食料の備蓄と非常持ち出し品の準備】

食料や飲み物は1週間分、最低でも3日分を備蓄しておきましょう。消費期限などを確認し、必要に応じて入れ替えることも大切です。

また、下記の非常持ち出し品チェックリストを活用しましょう。

1～3日目の食料の例

冷蔵庫や冷凍庫にあるものを食べる（日頃から食材を多めに買い置きしておく）



4～7日目の食料の例

缶詰・乾麺・レトルト食品・乾物などを食べる

非常持ち出し品チェックリスト

□食料　□飲料水　□携帯ラジオ　□懐中電灯（予備電池を含む）　□救急医薬品（常備薬、風邪薬など）　□貴重品（現金・通帳・保険証など）　□感染症対策用品（マスク・アルコール消毒液・体温計など）　□その他（着替え・タオルなど）

VEGETABLE OIL INK
「広報しばた」は環境にやさしい植物油インキを使用しています